日本のサイバーセキュリティを「連携」「学び」「創造」

社会活動部会
パネルディスカッション

大量パッチ時代の脆弱性対応
～フロンティアAI時代に我々はどう対応すべきか？～

概要

■ 背景・目的

AIの進展により脆弱性の発見件数が急増し、「常時パッチ対応」を前提とした従来の運用は限界に達しつつあります。こうした状況下において企業・ベンダー・業界としてどのように取り組むべきか、立場を超えた議論を通じて聴講者が検討する際の示唆を提供します。

■パネリスト（順不同）

・岡田 良太郎氏（株式会社アスタリスク・リサーチ）
・小中 俊典氏（金融ISAC 脆弱性対応WG座長／損害保険ジャパン株式会社）
・奥澤 亮太氏（株式会社NTTデータグループ 技術革新統括本部 品質保証部 情報セキュリティ推進室）
・川口 修司氏（独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター）

■モデレータ

・唐沢 勇輔（社会活動部会 部会長／Japan Digital Design株式会社)

テーマ①

AI時代、脆弱性の急増は
現場でどこまで実感されているか？

テーマ②

大量パッチ時代の現実、
いま何が最も「無理」になっているか？

テーマ③

あなたの立場から見て、
脆弱性対応の「当たり前」はどう変わったか？

テーマ④

限られたリソースの中で、
優先順位をどうつけるべきか？

テーマ⑤

エコシステム全体で、
誰が・何を担うべきか？

テーマ⑥

5年後、脆弱性対応は
どのような姿になっているべきか？

テーマ⑦

聴講者が明日から始められる一歩は何か？

テーマ

会場（Zoom）から頂いたご質問